

西宮市 平和資料館



入場無料

西宮市でも空襲があったことをご存知でしょうか。

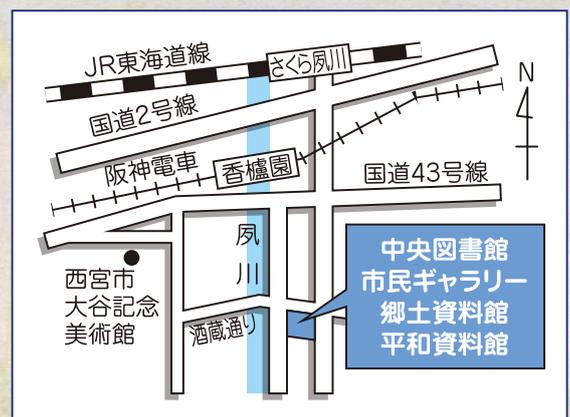
昭和20（1945）年3月から8月にかけての空襲によって多くの方が犠牲となりました。西宮市平和資料館では、市民の方から寄贈していただいた戦争関係資料を展示しています。

戦争による悲劇について学び、平和の大切さ・尊さを、次の世代に語り継いでいくことが大切です。

皆様、ぜひご来場ください。



開館時間	午前10時～午後5時
休館日	月曜日、年末年始（12月29日～1月4日）
所在地	〒662-0944 西宮市川添町15-26 （西宮市教育文化センター1階）
アクセス	阪神香櫨園駅下車南へ徒歩6分 JRさくら夙川駅下車南へ徒歩15分 阪神バス・阪急バス川東町下車すぐ
電話	0798-33-2086



✿ 出征前・銃後の家族や郷里 ✿

戦争が長引けば長引くほど、たくさんの兵士が必要になります。徴兵する条件もどんどん改められ、まだ歳の若い男子にまで召集令状が届くようになりました。名誉なことと胸を張る者、行きたくない泣いた者、心中はさまざまであったでしょう。家族も一家を支えてくれるはずの男性を次々と送り出すことは、どんなに不安だったことでしょう。しかし、人々は国や家、子どもたちを守るために、この困難を乗り越えなければなりませんでした。



勤労働員

✿ 戦争の経過 ✿

日本軍は、東南アジアから南太平洋にかけての広大な地域を占領しました。しかし、昭和17(1942)年6月のミッドウェー海戦の敗北によって、日本軍は甚大な被害を受け、太平洋戦争は長期化しました。

国民の戦意は新聞や雑誌等により高められました。情報は政府の統制化に置かれ、国民には正確な戦況すら知らされませんでした。



空の骨壺

✿ 終 戦 ✿

広島や長崎への原爆投下、ソ連の参戦などを受け、日本政府はポツダム宣言を受諾し、約4年にわたる太平洋戦争は終結しました。しかし、食料不足やインフレ、シベリア抑留など、戦後も多くの課題が残りました。



終戦を告げる新聞

西宮市平和資料館概要

開館年月日 _____
平成14(2002)年12月12日

資料館内 _____
①戦争への道程・開戦 ②出征前・銃後の家族や郷里 ③戦場の兵士 ④戦争の経過 ⑤空襲 ⑥終戦 ⑦未来へむけて の7つのテーマに沿って約80点の資料を展示しています。

ホームページでも所蔵資料の一部を公開しています _____
西宮市のホームページからページ番号検索(ページ番号:34343943)で。

資料の寄贈 _____
戦災資料の寄贈を希望される方は、人権平和推進課(0798-35-3473)へお問合せ下さい。